



年頭にあたって

小平町長 横濱 磨

新年あけましておめでとうございます。

平成22年の新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

また、町行政の推進に深いご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、衆議院議員総選挙の結果を受けた政権交代は、戦後永く続いてきた55体制の崩壊という我が国における歴史的な転換期となったところであります。

このような政治体制の大転換期を迎えた中で、小泉改革による地方財政の硬直化と追い討ちをかけた世界的な金融恐慌による社会経済への影響は、依然として国民生活への大きな不安要素となっております。

このような社会経済情勢のもと、平成21年の町政運営におきましては、平成20年度を初年度とする「小平町新総合計画」を基に「やさしさあふれる、やすらぎの町」の実現に向け、町民の皆様のご理解と関係機関のご協力により進めてまいりました。

迎える平成22年は、新政権が掲げる「友愛政治」をベースとした、地域のことは地域に住む住民が決める「地域主権型社会」の実現は、究極の地方分権であり地方自治体の責任と真価が問われるものであることから、新政権における改革路線の動向を一人ひとりが注視し、時代の流れにただ流されること無く、真の協働による町づくりを目指して参る所存であります。

年頭にあたり、本年が平穏で明るい希望のある年であるとともに、町民皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

